

調査報告11

電子商取引と国際物流を中心とした中国現地調査報告

中村学園大学 流通科学部

朴 晟 材

本調査報告は、「中国における電子商取引と物流に関する研究」のために流通科学研究所が上海と杭州地域で実施した現地調査の中で、杭州碧橙ネットワーク技術有限公司、杭州師範大学アリババ商学院、上海海空龍国際物流有限公司、洋山深水港での調査内容の概要を報告するものである。

1. 杭州碧橙ネットワーク技術有限公司

電子商取引運営会社である杭州碧橙ネットワーク技術有限公司は、国際的な有名ブランド企業のインターネット上での高付加価値サービス提供の支援を主な事業領域としている。事業内容としては、中国の2大ECモールである淘宝と京東モールの出店事業、独自ブランドの運営、ネットワークチャネル管理、ソフトウェア開発およびその他の電子商取引を含む高付加価値ブランドのワンストップ電子商取引ソリューションを提供している。

<碧橙電商本社>



2010年5月に設立され、有力インターネットブランドソリューションプロバイダーに成長した同社の顧客企業には、フォーチュン500企業が3社含まれており、企業内のコアチームの実績として、総会員数5,000万人以上の10件の電子商取引プロジェクトが展開中であり、2017年度の年間売上高は約2億ドル、年間取引件数は1,000万件を超えている。

<主な事業内容>

デジタルマーケティング事業	電子商取引オペレーション事業	ブランドディストリビューター事業
ブランド戦略 デジタル統合マーケティング デジタルメディアプランニング コンテンツの作成と実行 ソーシャルメディア広告 モバイルアプリケーション開発 検索エンジンマーケティング	チャネル戦略コンサルティング プラットフォームリソース通信 商品企画・運用プロモーション ビジュアルデザイン マーケティング計画 注文管理・市場分析 O2Oシステム構築 越境電子商取引計画	ブランドの国内販売代理店 ブランドチャネル制御 ブランドコミュニケーション ブランドメディア開発 O2Oシステム運営 ブランドマイクロビジネス ブランドSNSマーケティング

＜オフィス内の様子＞



インターネット上で高価値ブランドの支援を行う同社は、eコマースの販売プラットフォーム、越境電子商取引計画、消費者動向分析、ネットワークマーケティング、オンラインロコマーケティング、ビッグデータマーケティング、O2O システムの設計とプロモーションなど、インターネットブランドのフルリンク管理サービスをパートナーに提供することを目標としている。主な顧客企業としては、シーメンス、リンナイ、パナソニック、オムロン、3M、マテル、サイベックス、ハイセンス、ロンシェン、PPTV などの大手有名ブランド企業がビジネスパートナーとなっている。

2. 杭州師範大学アリババ商学院

杭州師範大学アリババ商学院は、杭州師範大学とアリババグループが共同設立した大学と企業間の産学連携大学である。高度な教育コンセプト、ユニークな制度的メカニズム、新しい教育モードをベースに2008年にオープンした同大学は、アリババグループの取締役会会長である Ma Yun 氏が初代学長を務め、現在もビジネス界有数のリーダーが大学のシニアコンサルタントを兼務している。

＜杭州師範大学＞



デジタル経済時代の革新的で優れた経営才能と起業家を育成するという使命のもとで、ビジネスと経営理論の革新に取り組んでおり、新しいビジネススクールのベンチマークになること

＜主な受賞歴＞

2014年	中国電子商取引協会と杭州電子商取引協会が共同発行した「2014ベスト E コマースサービスプロバイダ賞」を受賞
2016年	Tmall サービスプロバイダープラットフォームで「Tmall 準天頂サービスプロバイダー賞」を受賞
2017年	中国商務省から「2017-2018 E コマースデモンストレーション企業賞」を受賞
2017年	「TMA モバイルマーケティングブランド賞」を受賞
2017年	「年間デジタルマーケティングエージェンシーランキング」で9位にランクし、「シナリオマーケティング賞」を受賞
2018年	「Tmall 五つ星サービスプロバイダー」の称号を授与

を目指している。現在の学長はアリババグループの学術委員会の Zeng Ming 教授が務めている。

アリババ商学院は、「オープン性、革新性、卓越性」の設立コンセプトに基づき、国際的な視野、実践的能力、そして革新的起業家精神を身に付けたハイエンド起業家を輩出するというビジョンの下でビジネスエリート育成のための「起業家大学」としての発展に努めている。教育方針の特徴として、人中心の経営哲学を遵守し、学生の潜在的な自己管理意識を高揚させ、儒教の商人文化を促進することで、人道的ビジネス哲学を背景にした起業家精神の育成に力を入れている。

＜アリババ商学院＞



学部と大学院で構成されるアリババ商学院は、オンライン教育研究と社会サービスを提供し、経済社会開発と近代サービス産業に役立ついくつかの新学際的分野を積極的に構築してい

電子商取引と国際物流を中心とした中国現地調査報告。主要分野と専攻には、e コマースサービス、オンラインマーケティング、オンライン取引、オンラインファイナンス、ロジスティクス、ネットワーククレジット、データマイニング、オンライン起業家精神などがある。

最近では、MBA や留学生教育の高度化を促進し、非学術部門の社会実践訓練を積極的に展開することで、電子商取引分野でのソーシャルトレーニングブランドの構築を図っている。そのための教授陣として、上級専門家称号と博士号を持つ常勤の教授陣と国内の電子商取引分野のビジネスリーダーや、アリババグループの役員及び同分野の最高技術専門家からなる非常勤の教員チームを有している。

商学院は、E-commerce、Internet Marketing、International Business、Logistic Management の学部専攻と、Management Science and Engineering、International Business、Service Science and Management、Computer Application Technology、Software Engineering の修士課程で構成され、約1,400人のフルタイム大学院生、学部生および留学生が在籍している。中には長江奨学生と教育省の電子商取引教育委員会のメンバーが率いる専任の教授チームもあり、教員スタッフの58%が上級の称号、そして80%以上が博士号を保有している。また、アリババ社のエグゼクティブや社会人エキスパート教員もグループに加わっている。現在、9つの国家研究プロジェクトが進行中のほか、2つの EU 協力プロジェクトを主宰するなど、才能訓練の高い質を保証している。

<主な専攻構成>

	電子商取引専攻	ネットワークマーケティング専攻	国際ビジネス専攻
教育 目標	優れたビジネスリテラシー、 ヒューマンリテラシー、イ ノベーション、起業家精神 を涵養する。 現代のビジネス理論と情報 技術の相互知識スキルを持 ち、熟練した英語応用能力 とeコマース共同開発管理能 力を発揮し、最新の電子商 取引発展を導く人材となる。	21世紀社会経済の実際ニー ズに対応し、戦略的なビジョ ン、モダンな思考と革新、 特にネットワークマーケ ティングの現代的な感覚と 管理能力で、高レベルの国 際マーケティングをリード する経営才能をもった人材 となる。	優れた人格的品質と革新的 な起業家精神、社会的責任、 国際的なビジネス感覚、そ して高い外国語能力に基づ いた、現代の情報技術と電子 商取引の環境および運営に 精通した国際的なビジネス 管理者となる。
コース 設定	ミクロ経済学、マクロ経済 学、経営学、財務会計、マー ケティング、電子商取引入 門、ネットワーク経済入門、 経営情報システム入門、電 子商取引ネットワーク技術、 インターネット貿易とマー ケティング、インターネッ トファイナンス、SCM、ロ ジスティクス管理、ERP基 礎と応用	ミクロ経済学、マクロ経済 学、経営管理、財務、消費 者行動、マーケティング、 国際マーケティング、市場 調査分析、ネットワーク経 済学、ロジスティクス、マー ケティング計画、サービス マーケティング、マーケティ ング実践、マーケティング コミュニケーション	マクロ経済学、ミクロ経済 学、国際経済学、会計、統計、 財務、マーケティング、国 際ビジネス管理、国際貿易 理論と実務、国際金融、国 際ビジネス法、国際物流管 理、国際ビジネス交渉、国際 財務管理、国際文書と決済、 貿易英語、ゲーム理論
進路	アリババグループと他の国 内・外国企業において、電 子商取引の計画、運用と管 理、ネットワークマーケティ ング、ロジスティクス管理、 ビジネス情報収集などのビ ジネス活動やその他の管理 業務に従事する。アリババ インターンシップの評価に よる優先雇用制度がある。	外国貿易、技術監督、経済 管理、ビジネスマーケティ ング計画、市場開発、広告 計画、商品品質監督および 品質管理、電子商取引、商 品輸出入業務管理に従事す る。アリババインターンシッ プの評価による優先雇用制 度がある。	外国貿易企業、産業貿易・ 自営輸出入企業などの輸出 入業務、外国投資企業の国 際調達、マーケティング管 理、外国投資企業の国際調 達、政府機関に従事する。 アリババのインターンシッ プの評価を受け、グループ が優先採用及び創業を支援 する。

アリババグループ企業が教育に完全に参加することで、優れた企業文化と企業家精神、革新的産業開発を緊密に統合した教育才能訓練のための「アリババモデル」を確立している。モデル展開の成果としては、第12回5ヵ年計画教科書及び教育省の電子商取引専門教育委員会が推奨する一連の電子商取引慣行およびイノベーションシリーズ計画資料を編集し、学部課程の教材として出版している。また国立科学アカデミー(PNAS)の学術大会をはじめ、International Network Science Conference NetSciX 2018や第9回全国複合ネットワークアカデミック大会などの一連の国内外トップレベル学術会議が開催された。そしてプロジェクト成果として「中欧共同研究室」を設立したほか、アリババグループと共同で「アリババ複合科学研究センター」を設立した。

<実習用の配送ロボット>



過去3年間で、「ゴールデンユース賞」などの国内学生起業家コンテストを含む27の国際レベルの学術賞を学生が受賞し、国立大学生の「電子商取引3つの創造物特別賞」を4年連続で受賞した。現在、学内には38の起業家チームと18の登録企業があり、2017年には創業した企業収入が1億5,000万元を超えている。過去3年間で、平均就業率は98%を超え、卒業生の約50%が、アリババ、テンセント、百度などの有名イ

ンターネット企業に進出した。第13回中華人民共和国学生年鑑、国立大学起業家ヒーローTOP10コンテストでは卒業生が代表を務めるなど、高い社会的評判を確立している。

3. 上海海空龍国際物流有限公司

上海揚子江自由貿易港エリア内の東海橋への入り口に位置する上海海空龍国際物流有限公司は、総面積57,000㎡、コンテナヤード面積10,000㎡、オフィスビル面積1,200㎡、資本金6百万ドルと総投資額2千万ドルの規模を有する総合物流企業である。自由貿易区内で国内外向けの物流サービスを提供する同社は、標準化されたワークショップ、保税倉庫および包括的な物流情報システムで統合された現代的な国際フォワーダー企業である。

<海空龍国際物流有限公司>



同社が提供する国際配送サービスは、保税倉庫保管後の国内外市場への流通や、シンプルな付加価値処理が可能な自動化された在庫保管機能、標準化された梱包、効率的な配送システムが統合され、荷主企業の国際貿易事業の展開のための好ましい環境提供を実現している。

<上海自由貿易試験区>



国際貿易機能として、入庫された輸入品は、追加処理なく直接他の仕向国（地域）への移管・輸出が可能である。洗練された国際中小企業向け貿易システムは、進出企業が国際物流運営とサービス貿易を実施し、輸出入業務の強化と港湾機能のフル活用することを可能にする。また、国際物品および国内物品は、リンクする国内外にある他の仕向港に迅速に輸送されることになるが、同センターを中心に設計された国際貿易中継機能は、自由貿易港の立地と政策上のメリットを十分に生かすことができる。国境を超える国際的な物品流通を促進するために、物流システムを有機的に統合することで、港湾地域への資源輸送のみならず、複数の国や地域への物品統合輸送を最短のリードタイムで行うことができる。

国際購買サービスでは、一般的な取扱いと簡単な付加価値処理を経て、調達した国際商品と輸入商品を国内外に供給するサービスである。多国籍購買センターは、自由貿易港におけるグローバルな購買システムを確立しており、中国の高い製造能力の支援によるグローバルレベルのサプライチェーンの主要なリンク機能も確立されている。

流通加工サービスは高度なビジネス展開に特化している。輸出加工機能では、原材料、部品および半製品を中心としたサプライチェーン

の上流および下流の結束を強化し、その間に良好な物流プラットフォームを活用することでコスト削減及びサービスレベルの向上を実現している。

また同社では、荷主顧客へのワンストップサービスを提供するため、国際品質管理プロバイダである Intertek Plc との戦略的提携関係を構築している。Intertek と共同で設置したエクスプレスサービスステーションでは、物流環境監査、出荷前検査、輸入加工品の加工検査、輸入国の要求テスト、特殊製品の検査、国際流通のための加工検査のような輸出入検査、試験および関連コンサルティングサービスを提供している。

4. 洋山深水港

上海港は長江デルタ経済圏を背後地に持ち、重慶までの1,500km に至る長江の関門に位置し、この地域における人口の増加や工業などの産業発展が上海港の貨物交易量を増加させている。

上海港のコンテナターミナルは、長江に面する既存の外高橋港と上海市から32km 南東海上に建設された洋山港を含む3つの主要港で構成され、洋山港は上海国際港務集団のグループ会社である上海盛東国際コンテナターミナル社がターミナルを運営管理している。

洋山深水港は、上海南の杭州湾に位置する中国最大の貨物港で小洋山島と大洋山島の間を埋め立てて造成された人工の海上港である。32.5 kmの東海大橋を通じて、上海市に2009年浦東新区として合併された南匯区と接しており、1期工事が完了した2005年12月10日に正式に開港した。

洋山港の建設前は、上海黄浦江の内河港に大型船舶の停泊に必要な水深10~11m の確保が必要であったが、長江河口の航路水深が7m に過ぎず、上海港発展の制約要因となっていた。そのため、2002年3月に洋山港と東海大橋の建

＜世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング＞

順位	2017年		1980年	
	港湾名	取扱量 (TEU)	港湾名	取扱量 (TEU)
1	上海 (中国)	40,230,000	ニューヨーク (米国)	1,947,000
2	シンガポール	33,670,000	ロッテルダム (オランダ)	1,900,707
3	深圳 (中国)	25,210,000	香港	1,464,961
4	寧波・舟山 (中国)	24,610,000	神戸 (日本)	1,456,048
5	香港 (中国)	20,760,000	高雄 (台湾)	979,015
6	釜山 (韓国)	20,470,000	シンガポール	917,000
7	広州 (中国)	20,370,000	サンファン(プエルトリコ)	851,919
8	青島 (中国)	18,300,000	ロングビーチ (米国)	824,900
9	LA・ロングビーチ (米国)	16,890,000	ハンブルグ (ドイツ)	783,383
10	ドバイ (UAE)	15,370,000	オークランド (米国)	782,175
11	天津 (中国)	15,070,000	シアトル (米国)	781,563
12	ロッテルダム (オランダ)	13,730,000	アントワープ (ベルギー)	724,247
13	ポータケラン(マレーシア)	11,980,000	横浜 (日本)	722,025
14	アントワープ (ベルギー)	10,450,000	ブレーメン (ドイツ)	702,764
15	廈門 (中国)	10,380,000	基隆 (台湾)	659,645
16	高雄 (台湾)	10,270,000	釜山 (韓国)	634,208
17	大連 (中国)	9,700,000	LA (米国)	632,784
18	ハンブルグ (ドイツ)	8,860,000	東京 (日本)	631,505
19	タンジュンペレパス(マレーシア)	8,380,000	ジェッダ(サウジアラビア)	562,792
20	レムチャバン (タイ)	7,780,000	バルチモア (米国)	523,460

出所：国土交通省統計情報

＜東海大橋＞



設のための国務院の批准と認可を経て、2005年末1期工事、2006年末2期工事、2010年末3期工事、2012年末4期工事が完了し、現在は2020年の完成に向けて4期ターミナル内の無人自動化ターミナルの整備が進められている。

世界最大のコンテナ取扱量を誇る上海港の中でも、最先端の第4期ターミナルは特に注目が集まっている。2017年12月、中国のSIPG (Shanghai International Port Group) とZPMC (Shanghai Zhenhua Heavy Industry)

<洋山深水港コンテナターミナル>



社が、共同で運営を開始した洋山港第4期ターミナルは、全長2,350mの7つのバース（7万トン級2、5万トン級5）を保有し、2.2万㎡の面積を持つ、世界最大の完全無人自動化コンテナターミナルである。現在は、年間取扱量4百万TEU規模のターミナルを運営しているが、2020年の完成時には処理能力6.3百万TEUを計画している。

<第4期自動化ターミナル>



無人自動化システムとしてZPMCが製作した荷役機器は、ガントリークレーン10機、オートレール式トランスファークレーン40機、無人搬

送車（AGV）50台などが現在運営されており、2020年の完成時には、ガントリークレーン26機、トランスファークレーン120機、そしてAGVは130台まで増強される予定である。ガントリークレーンとトランスファークレーンによる荷役作業の操縦はターミナルビルからリモート操作されるため、作業者の安全性確保とヤード内の無人化を実現している。

今回の調査では、中国の電子商取引及び国内国際物流市場の発展方向が量的拡張戦略から質的ソフト戦略へと転換していることが確認された。中国を中心に展開される新しい流通経路の構築と取引形態及び物流システムの変化は、さらに複雑で高度な構造として実現し、グローバル規模の企業活動や、その他の分野にも大きな影響を及ぼしていることが考えられる。

謝辞

本現地調査では、杭州碧橙ネットワーク技術有限公司、杭州師範大学アリババ商学院、上海海空龍国際物流有限公司、洋山深水港の多くの関係者様にご協力をいただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

≪ 参考・引用資料 ≫

- 杭州碧橙ネットワーク技術有限公司紹介 PPT 資料（2018年8月23日現在）
- 杭州師範大学アリババ商学院大学紹介 PPT 資料（2018年8月23日現在）
- Shanghai HTL Int'l Logistics Co. HP・HTML 資料（2018年8月24日現在）
- Shanghai International Port Group HP・HTML 資料（2018年8月24日現在）
- 国土交通省統計情報（http://www.mlit.go.jp/statistics/details/port_list.html）